



竹の子川柳会

- かみなりはおおきなはなびみただな
小学校一年生
- プール行き水冷たくて入れない
小学校四年生
- 冷たそうアイスを食べるひえちやつた
小学校四年生
- 白いくもブカブカうかぶわたの船
小学校四年生
- 冷たいなシャリシャリシャリとかき氷
小学校五年生
- あつい時冷たいアイス食べたいな
小学校五年生
- 雷と雨が残した空の虹
小学校六年生
- 冷たいと感じられない暑い夏
小学校一年生
- 冷えたお茶氷入れたらキンキンだ
中学校一年生
- 不意に出た私の寝言で目が覚める
高校一年生
- 寝言中おかしな言葉言っている
高校二年生
- こうき心興味という海舟浮かべ
高校二年生
- 空浮かぶ絨毯乗って旅に出る
高校三年生

ひよし川柳会

- 満天の星にカーテン開けて寝る
菅原 由紀
- おはようと今日のドラマの幕が開く
兵頭チヨカ
- 手際よきまはればれとする仕事ぶり
水野すみこ
- 立派です農の証の大きな手
川添 忠昭
- 若いっていいな身軽にする作業
山本 節
- 身体の調子いいぞ靴下立って履く
若宮 賢敬
- 身の上話苦楽を越えた友の笑み
木村 貞子
- みの虫は孤独ただただ揺れるだけ
大崎 五葉
- 昼飯の時間になったと腹の虫
熊本 忠真
- 虫時雨唄いたくなるのど自慢
宇都宮 忍
- 腹の虫治まり旨い酒を飲む
中城 英雄
- 昔の写真整理できずに見るばかり
兵頭 好子
- 農村の行事欠かせぬ虫送り
宮川 柳酔

鬼北の足跡をたどる【第4回】



等妙寺旧境内の発掘品からわかること

九月三〇日(金)に開催した史跡等妙寺旧境内サポーターの会第二回学習会では、近年の調査成果を話題としました。等妙寺旧境内の発掘調査では、実にさまざまものが出土していますが、多くは食生活で使う道具や容器です。例えば、地元でつくられた土器の皿、中国産の碗・皿など食器。山芋や胡麻など食物をすりつぶしたり調理に使う備前焼すり鉢。貯蔵容器やコンテナとして用いる壺・甕も備前焼です。寺院としての性格を示すものとしては、床の間飾りに用いられた中国舶来の高級な壺や瓶も出土しています。仏具のほか、天目茶碗など茶道具類も寺院らしさを示す遺物といえます。

最も等妙寺旧境内を特徴づける遺物としては、龍文貼付褐釉壺が挙げられます。龍の貼り付け文様が施された中国南部産とされる壺で、日本国内では一例ほどしか知られていません。ガイダンス施設には、全体形状がわかるレプリカを製作・展示予定です。



▲等妙寺旧境内出土の龍文貼付褐釉壺



▲龍の鱗の表現